

## 「潜在保育士復職支援プロジェクト」



## 第1回 現場で役立つ保育研修を開催しました。

本学は岡山県から業務委託を受け、昨年度に引き続き「潜在保育士復職支援プロジェクト」を行っております。さる、8月23日に、「2015年度 第1回 現場で役立つ保育技能研修会」を開催し、十数名の方が参加してくださいました。潜在保育士とは、保育士の資格を持ちながらその資格を生かした職に就いていない方のことです。この研修はそのような方が保育士として復職する際の支援事業の一つとして行いました。今回の研修内容は次の通りでした。1 限目：山陽学園短期大学 幼児教育学科 講師 宇内一文先生「子どもの心を理解できていますか？-子ども理解に基づく保育内容」 2 限目：山陽学園短期大学 幼児教育学科 准教授 荒島礼子先生「保育に役立つ『集団遊び』」 3 限目：山陽学園短期大学 幼児教育学科 講師 鳥越亜矢先生、同 森英子先生「牛乳パックを使ったおもちゃ作りと遊び—製作と遊びの体験から指導のねらいや活動内容を考える—」

情報交換会では岡山市・倉敷市の担当者が保育士就労の現状説明を行い、就労情報提供の機会を設けました。

1 限目 宇内一文先生

「子どもの心を理解できていますか？」



2 限目 荒島礼子先生

「保育に役立つ『集団遊び』」



3 限目 鳥越亜矢先生・森英子先生

「牛乳パックを使ったおもちゃ作りと遊び」



保育士就労についての情報交換会の様子



参加して下さった方々の感想です。とても充実した時間を過ごされたことがうかがえました…。

\*とても勉強になりました。学生の時に勉強した理解とは、また違った角度から学ぶことができました。社会や子育てを経験したからこそ、リンクしながら中身の濃い内容でした。

\*現場での具体的例をもとに、グループワークによって参加者と話し合いながら学ぶことができてよかった。

\*荒島先生がとてもエネルギッシュで、お人柄にしみ出るエネルギーが素晴らしく、こちらも元気をいただきました。

やはり、保育者自身が本当に楽しんでいる姿というのは必ず子どもたちにも力を与えると思うので、私もまずは自分が一番楽しみたいです。

\*自分が製作活動を実際に行うことにより、指導案を立てる事にとっても役立ったし、大切なことが良く分かった。

\*今回の研修会は、職場で直接役立つことがとても多かったので、勉強になりました。